

町政を問う

保育園児の分散は最良の解決策か



永沼 義和 議員

現時点では最良の決断

永沼 すみれ保育園児の分散は、最良の解決策であったのか伺うものであります。

教育長 今回の方法は現時点では最良の決断であったと考えておりますが、しかし、現在行われている保育園の実態を見守り、また保護者のお考えなども伺いながらこういう状態が終わってからの判断をさせていただきたいというふうに考えなければならぬと肝に銘じているつもりでございます。ご賢察のほどよろしくお願いを申し上げます。



児童の分散先の1つ 会田病院託児所

永沼 今後の幼稚園、保育園の教育課程をいかに考えるか。

教育長 今後のあり方についての方向づけを行なったところでございます。この中で今後は保育園の民営化を進めるとともに幼稚園の統廃合などについても検討することとしております。しかし、このたびの問題等を踏まえ、この基本方針を早急に見直す必要があると考えております。今後も公立と民間が連携しながら町内の幼保園の運営が円滑に

図られるように総合的に適切な見直しと対応を図ってまいります。

永沼 町民の批判を受けながら職員のスラスラップに賛成議員の一人として財政健全化に向け野崎町長のお考えを伺うものであります。

町長 今回の給与改定は若い職員へ配慮した給与の

改定を主眼としており、将来ある若い職員の英知と実行力ある行動が伴わなければ、未来ある矢吹町の展望は開けないと考えております。議員には力強い発言をいただきましたので、そのような観点からも個々の職員の能力が最大限発揮できるように、職員の意識の改革と資質、能力向上のため人材育成に努めてまいります。



元気に遊ぶ町立保育園の児童

町政を問う



十文字 重康 議員

新しい生活圏の構築について

合併は魅力ある地域づくりに必要

市町村合併に見る新しい生活圏構想について

十文字 市町村の合併は首都機能移転のミニ版である。それぞれの町村の垣根を低くして、やがては撤廃して新しい生活圏を構築して、住民福祉に貢献することに目的がある。行政改革と町村合併をリンクした町の未来像について信を問う。

町長 合併における未来像ですが、当面自主自立の道を選択し、自立可能な町として行財政改革を始め財政再建に取り組んでおりますが、合併は魅力ある地域づくりのため今後とも目指す必要性はあると考えます。また起債等で新たな事業を起こすのではなく、合併した自治体が未来に向かって新しい生活圏を構築できるようにすることが大切と考えます。

中学校の森建設構想について

十文字 森を壊す行政から、森を再生する行政への



総合運動公園用地

転換が求められている。資産価値の低い未だ利用計画の立たない運動公園用地に中学校を建設、現用地を売却し建設財源に、残る用地を記念樹の森に、更にオーナーズの森に、福島の花見山公園をイメージした花に囲まれた中学校を建設すべきと思うが信を問う。

町長 改築する場合、仮に改修方法や建設場所等の変更等も含めて検討しても、町としては財政再建計画

成への道筋をつけてからと考えており、平成20年度当初予算では、中学校の整備の予算として見込んだ約7千万円余りの額を中学校建設基金に積み立てております。中学校に関連した総合運動公園用地についてもご提言による資産的視点や森を大切にする視点等の活用や、議会の皆様を始め町民の皆様の幅広いご意見等が伺いながら、有効活用が図られるよう、町の方向性を示してまいる所存です。

町民にやさしい、厨房レス学校給食の実現について

十文字 毎年かかり続ける厨房、管理経費の削減、地産地消の食文化の継承、町内外食産業の活性化、給食費保護者負担の軽減等、メリットの多い給食革命について信を問う。

町長 町民に優しい平成の学校給食革命、厨房レス学校給食の実現についてですが、町内飲食店を活用し

た給食提供の可否について、現在、学校給食法、衛生管理の基準等の法令・基準に基づき、学校給食の調理に必要な設備、規模、搬送時間などのクリアすべき課題を調査しています。課題等を洗い出し、教育指導にも配慮した総合的な給食提供が可能であるかの是非を含め、町内飲食店で受け入れただけかを調査検証してまいりたいと思います。



中学校での給食風景